



TOYOTA BOSHOKU

東証プライム 証券コード 3116

2021年度（2022年3月期）

期末 決算説明会

開催日：2022年4月28日

目次

1. 2021年度 決算状況
2. 2022年度 通期業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2021年度 決算状況

2. 2022年度 通期業績予想

3. 参考情報

- ◆ 岩森でございます。
- ◆ 本日は、お忙しい中、当社の2021年度 期末決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆ はじめに、2021年度期末の決算状況、
続いて、2022年度通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆ それでは、2021年度期末の決算状況について
ご説明いたします。

1-1) 2021年度 決算状況 連結決算概要

(億円)

	20年度 実績		21年度 実績		増減	
売上収益	12,721	100.0%	14,214	100.0%	1,493	11.7%
営業利益	571	4.5%	602	4.2%	31	5.6%
税引前利益	573	4.5%	645	4.5%	71	12.5%
当期利益*	311	2.5%	392	2.8%	80	25.9%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益	166円93銭		210円15銭		
為替レート	USドル	106円	112円	+6円	
	1-0	124円	131円	+7円	

売上収益

前年度コロナ禍からの需要回復により増収

営業利益

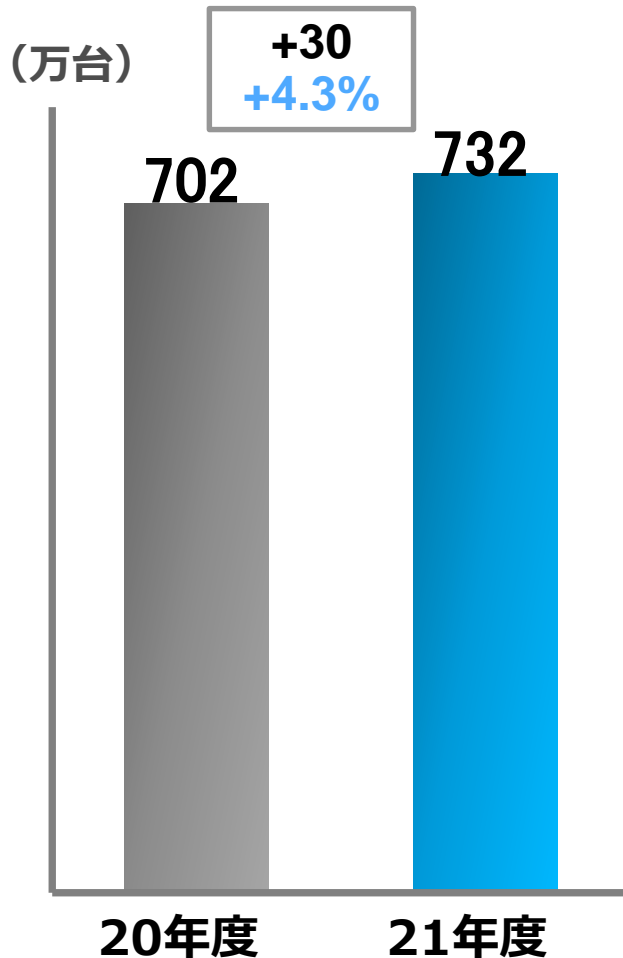
将来に向けた投資や外部環境変化などの減益要因はあるものの、
新製品効果や収益確保策等により増益

スクリプト

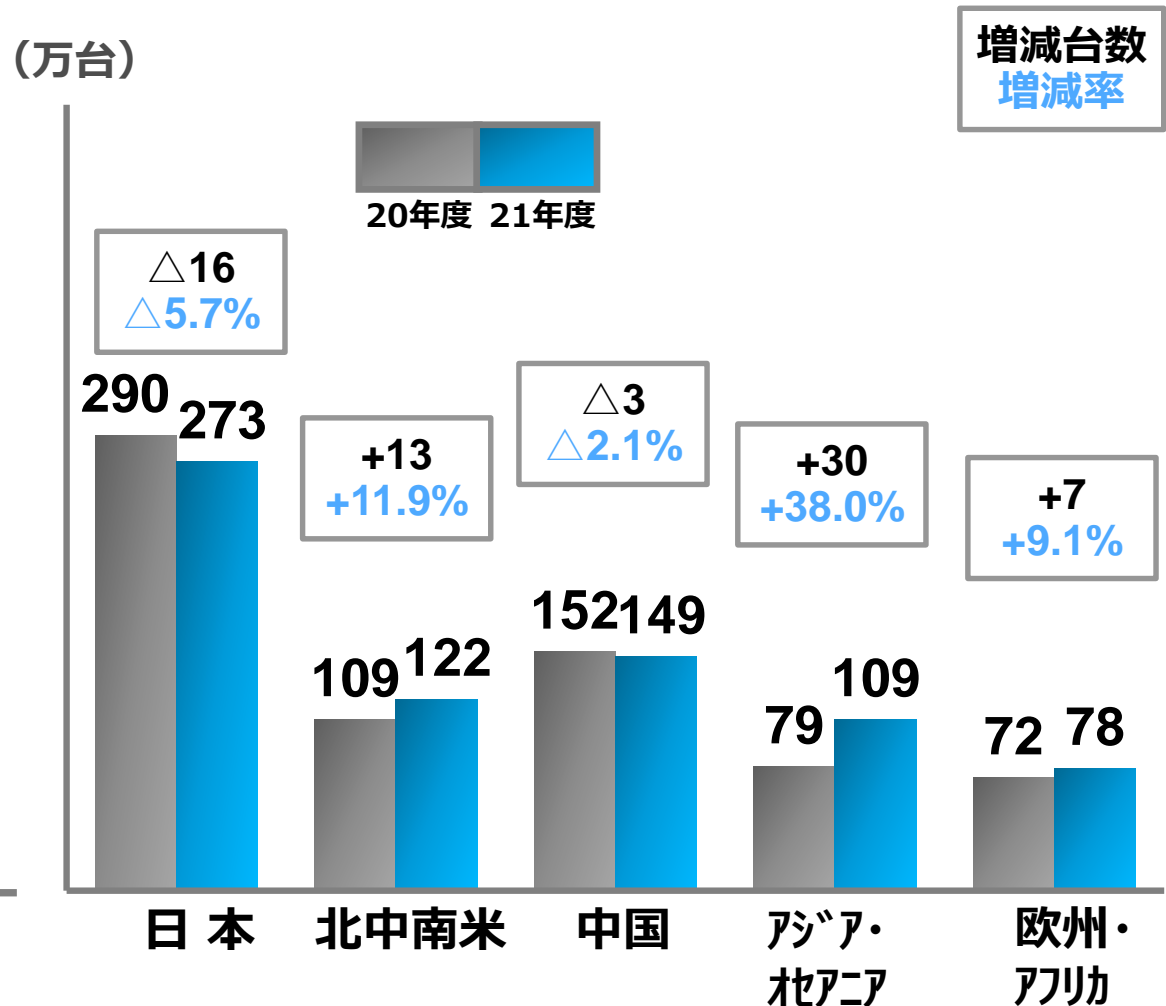
- ◆ 売上収益は、前期比1,493億円増加の1兆4,214億円。
- ◆ 営業利益は、前期比31億円増益の602億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比71億円増益の645億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比80億円増益の392億円となりました。
- ◆ 為替レートは、1ドル112円、1ユーロ131円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、売上収益でプラス529億円、営業利益でプラス26億円増加する方向に効いております。

1-2) 2021年度 決算状況 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



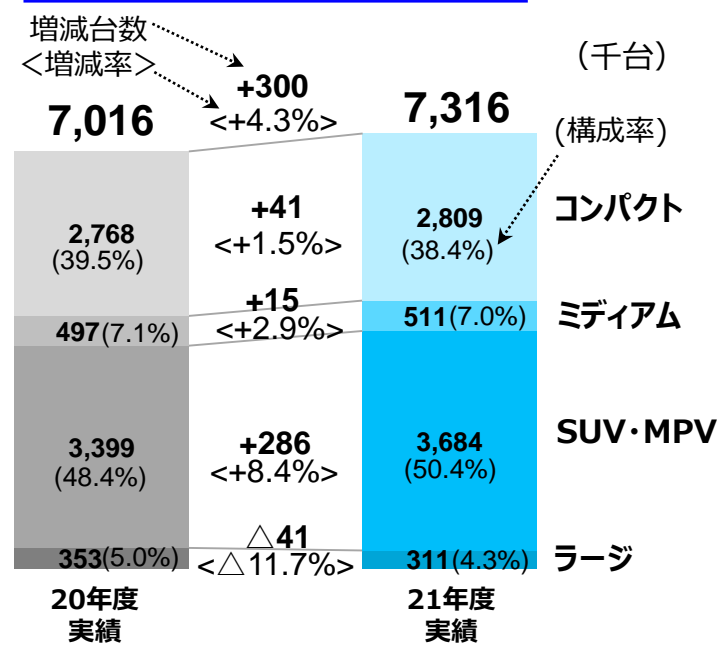
スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシートの生産台数ですが、連結全体では、前期比プラス30万台の732万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

1-3) 2021年度 決算状況 連結 売上収益・営業利益

諸経費の増加や外部環境変化などの減益要因はあるものの、増産影響や新製品効果及び収益確保策などにより増益

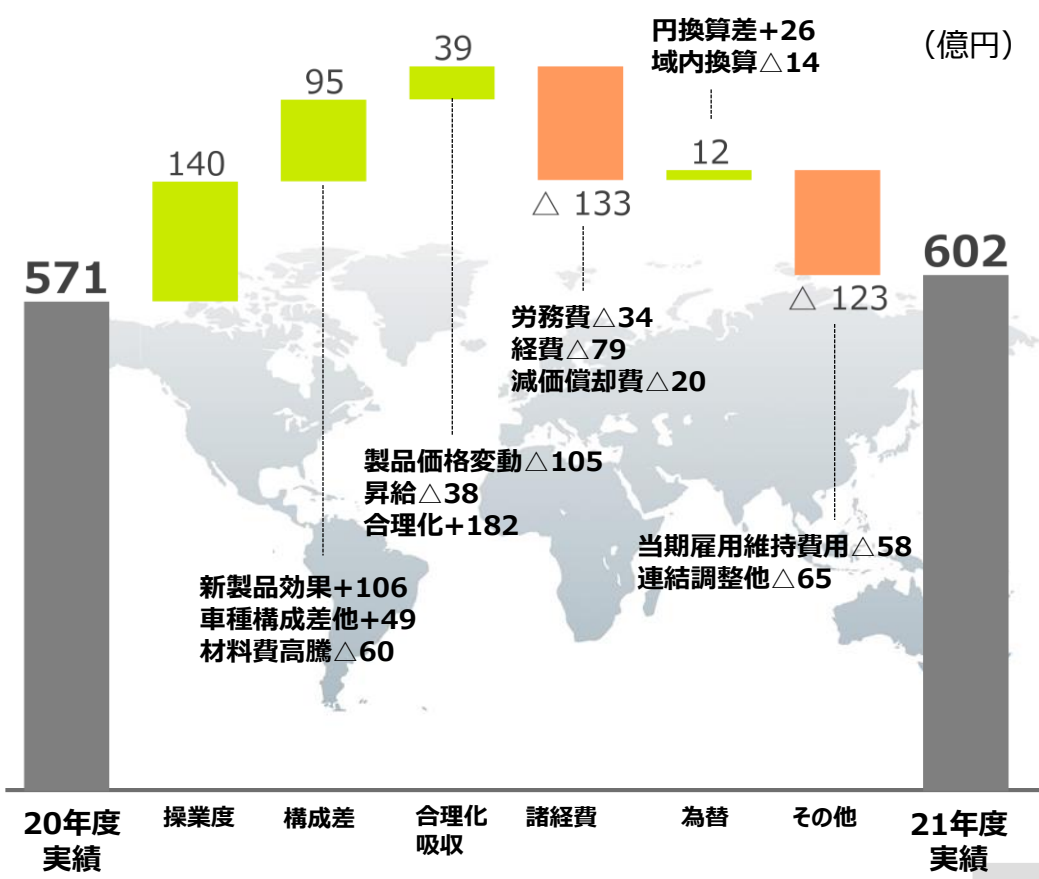
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度実績	21年度実績	増減
売上収益	12,721	14,214	1,493
営業利益	571	602	31
営業利益率	4.5%	4.2%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



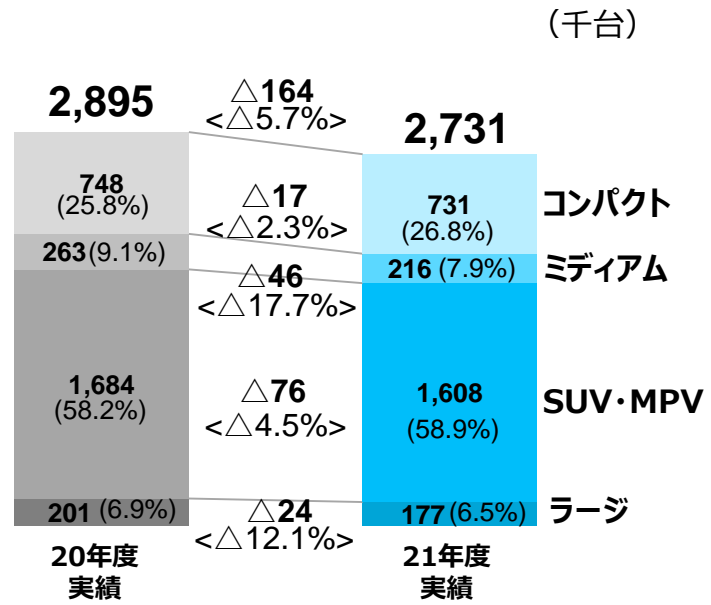
スクリプト

- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比プラス30万台の732万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,493億円増加の1兆4,214億円。
- ◆営業利益は、
諸経費の増加や外部環境変化による減益要因はありますが、
前年度のコロナ禍で構築したリーンな生産体制を基盤に、
増産効果を最大限取り込むとともに、
新製品の立上げロスの最小化と収益向上活動などにより、
31億円増益の602億円となりました。

1-3) 2021年度 決算状況 日本 売上収益・営業利益

新製品効果や収益確保策の推進による増益要因はあるものの、諸経費の増加や雇用維持費用等により減益

台数・車種構成の変化

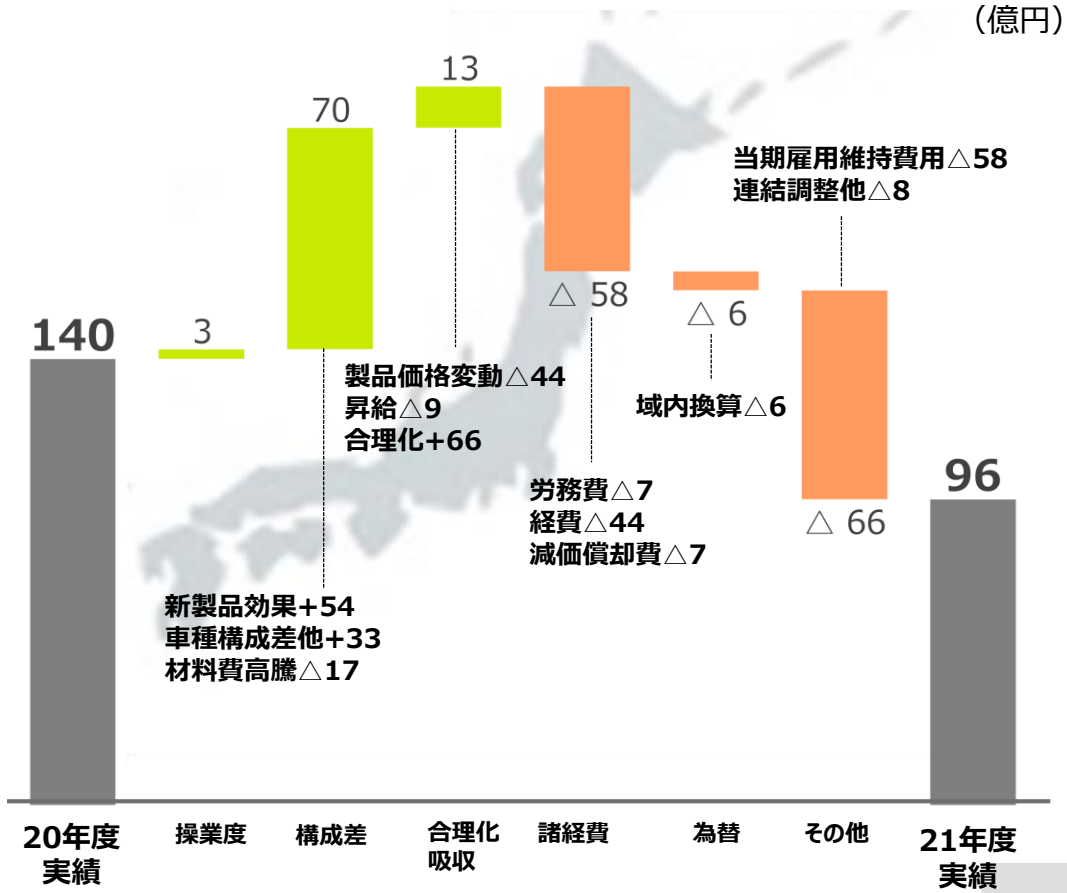


当期の経営成績

(億円)

	2020年度実績	21年度実績	増減
売上収益	6,996	7,006	10
営業利益	140	96	△44
営業利益率	2.0%	1.4%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

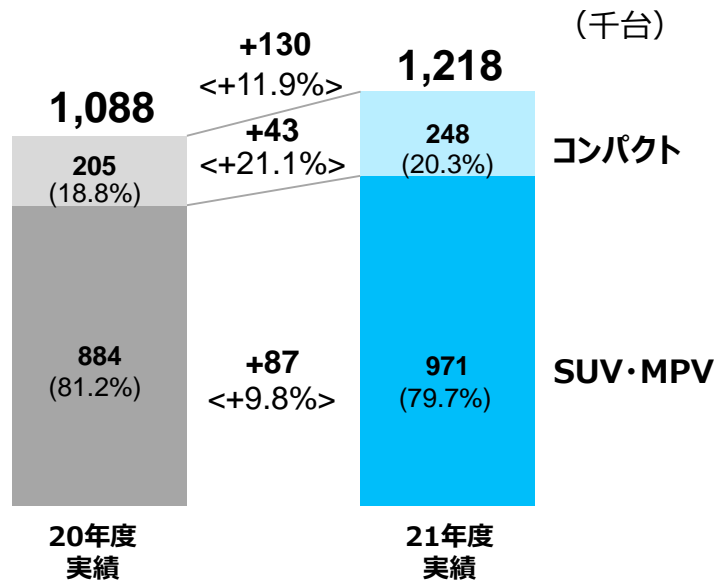


- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス16万台の273万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比10億円増加の7,006億円。
- ◆営業利益は、
新製品効果や収益確保策の推進による増益要因はありますが、
諸経費の増加や、減産状況下での雇用維持などにより
44億円減益の96億円となりました。

1-3) 2021年度 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

材料費高騰や生産正常化に伴う諸経費増加などの減益要因はあるものの、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

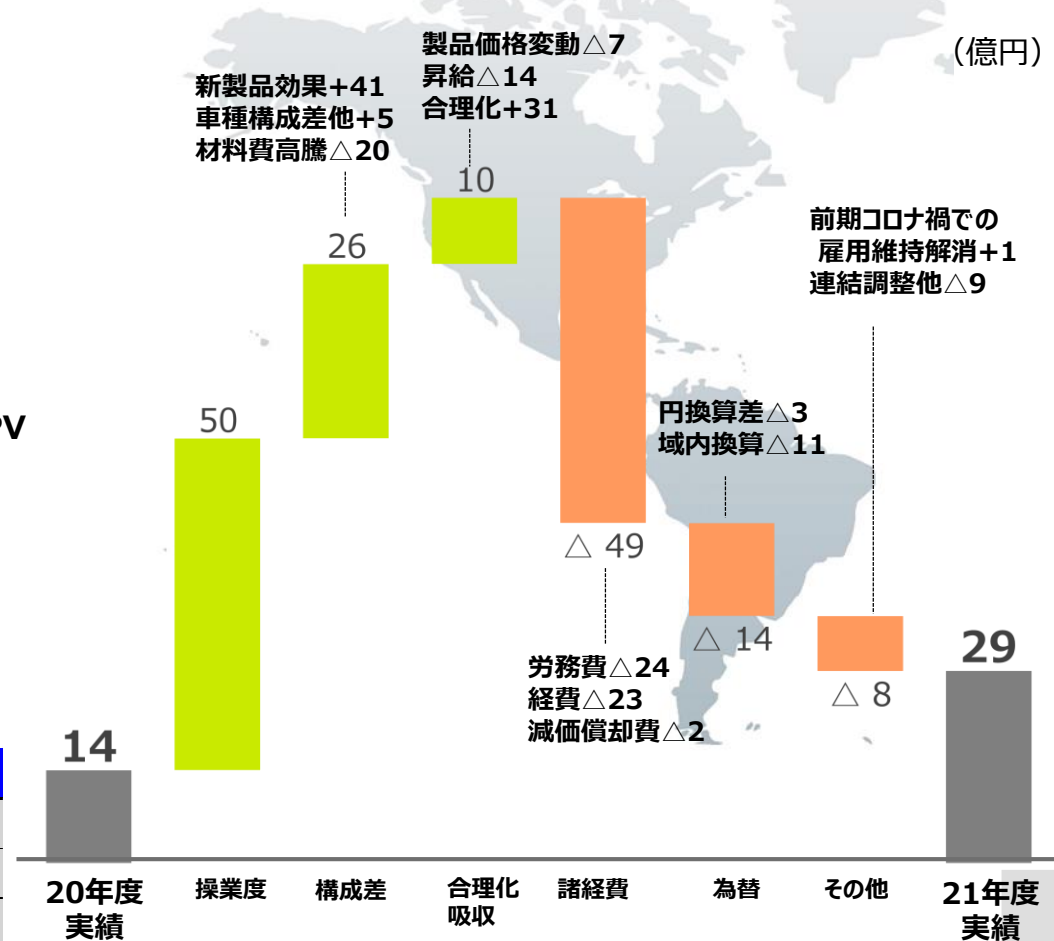
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	2020年度実績	21年度実績	増減
売上収益	2,460	3,177	717
営業利益	14	29	15
営業利益率	0.6%	0.9%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



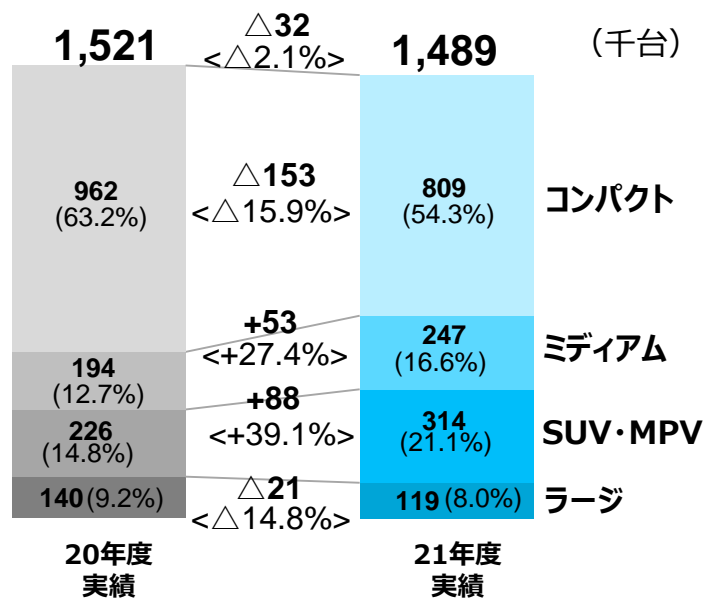
スクリプト

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比プラス13万台の122万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比717億円増加の3,177億円。
- ◆営業利益は、
材料費高騰や生産正常化に伴う諸経費増加などの減益要因はありますが、前年度のコロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより15億円増益の29億円となりました。

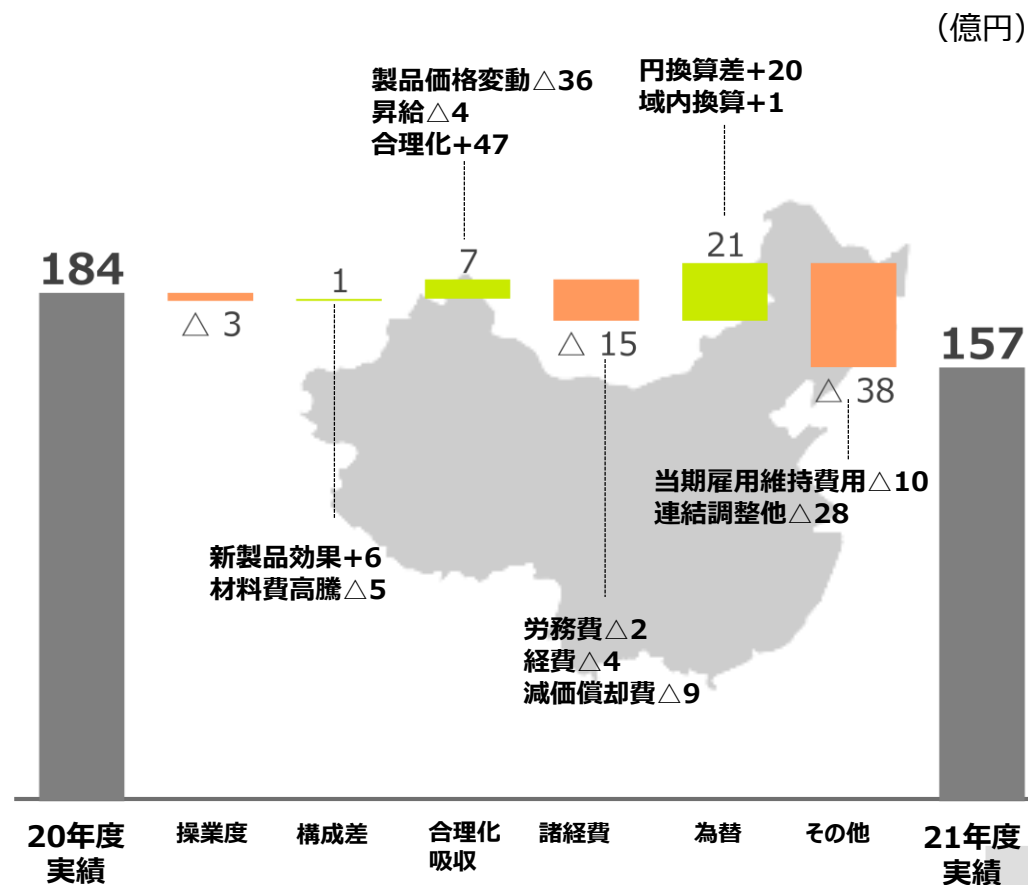
1-3) 2021年度 決算状況 中国 売上収益・営業利益

部品供給問題に伴う減産影響および雇用維持費用や一過性の減益要因などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

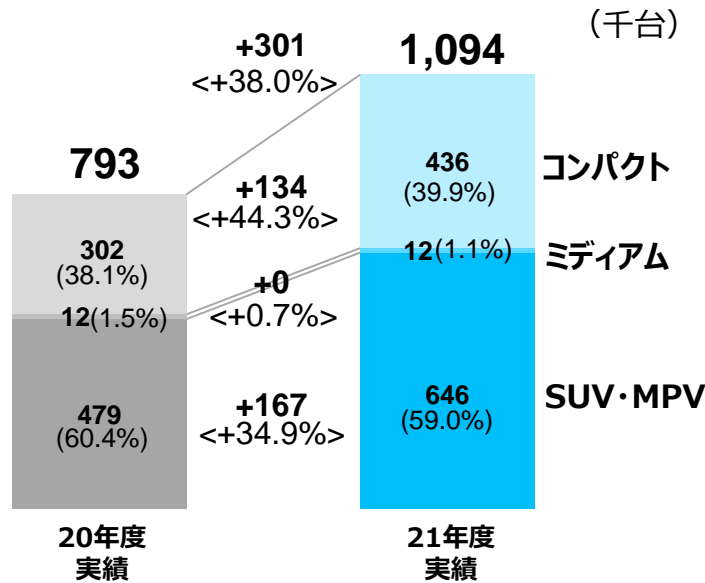
	2020年度実績	2021年度実績	増減
売上収益	1,804	2,121	317
営業利益	184	157	△26
営業利益率	10.2%	7.4%	-

- ◆次に、中国ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス3万台の149万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比317億円増加の2,121億円。
- ◆営業利益は、
部品供給問題に伴う減産影響や雇用維持費用の発生、
一過性の減益要因などにより、
26億円減益の157億円となりました。

1-3) 2021年度 決算状況 アジア・北アコ 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復に加え、
新車投入効果による増産影響などにより増益

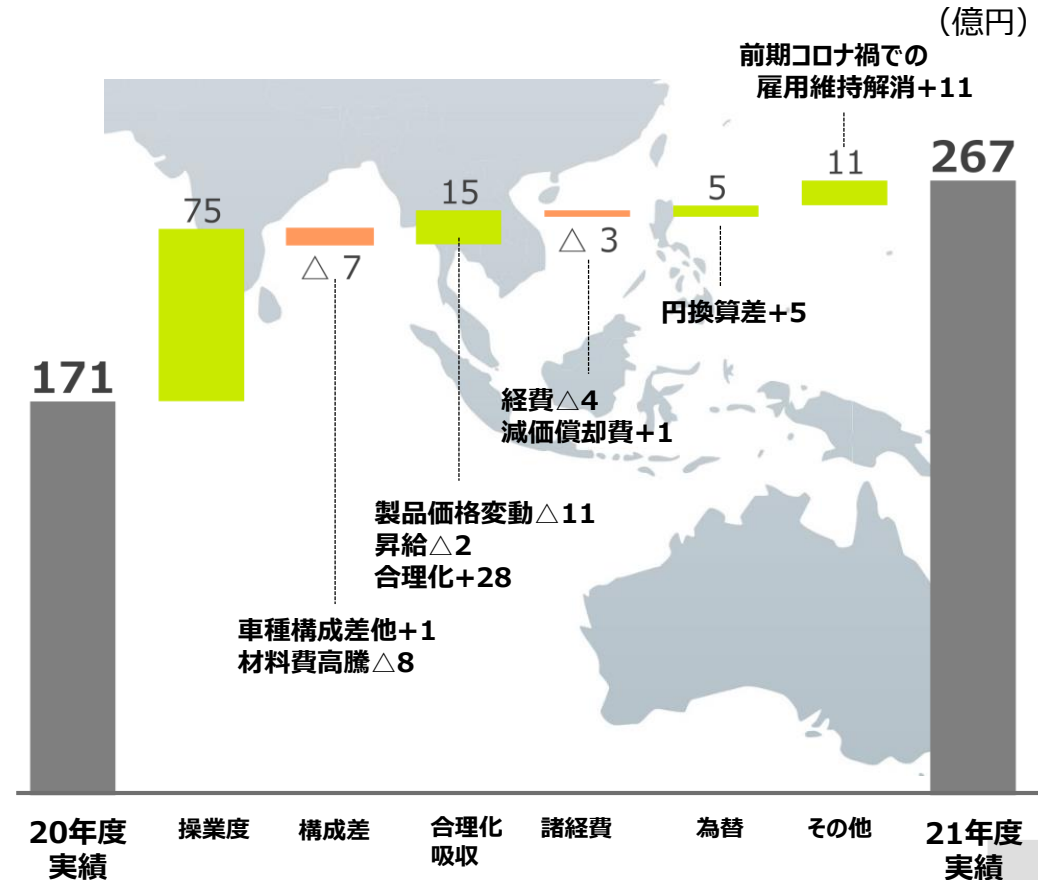
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	2020年度実績	2021年度実績	増減
売上収益	1,444	1,904	459
営業利益	171	267	95
営業利益率	11.9%	14.0%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



スクリプト

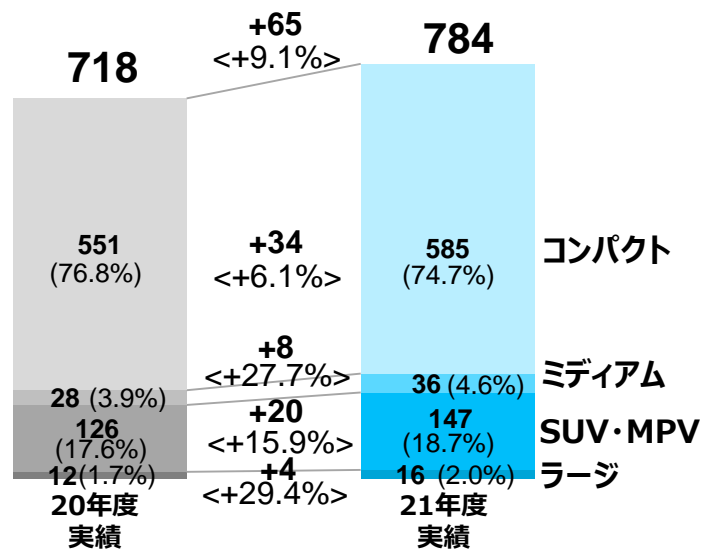
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比プラス30万台の109万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比459億円増加の1,904億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復に加え、
新車投入効果による増産影響などにより
95億円増益の267億円となりました。

1-3) 2021年度 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響はあるものの、
材料費高騰や一過性の減益要因などにより減益

台数・車種構成の変化

(千台)



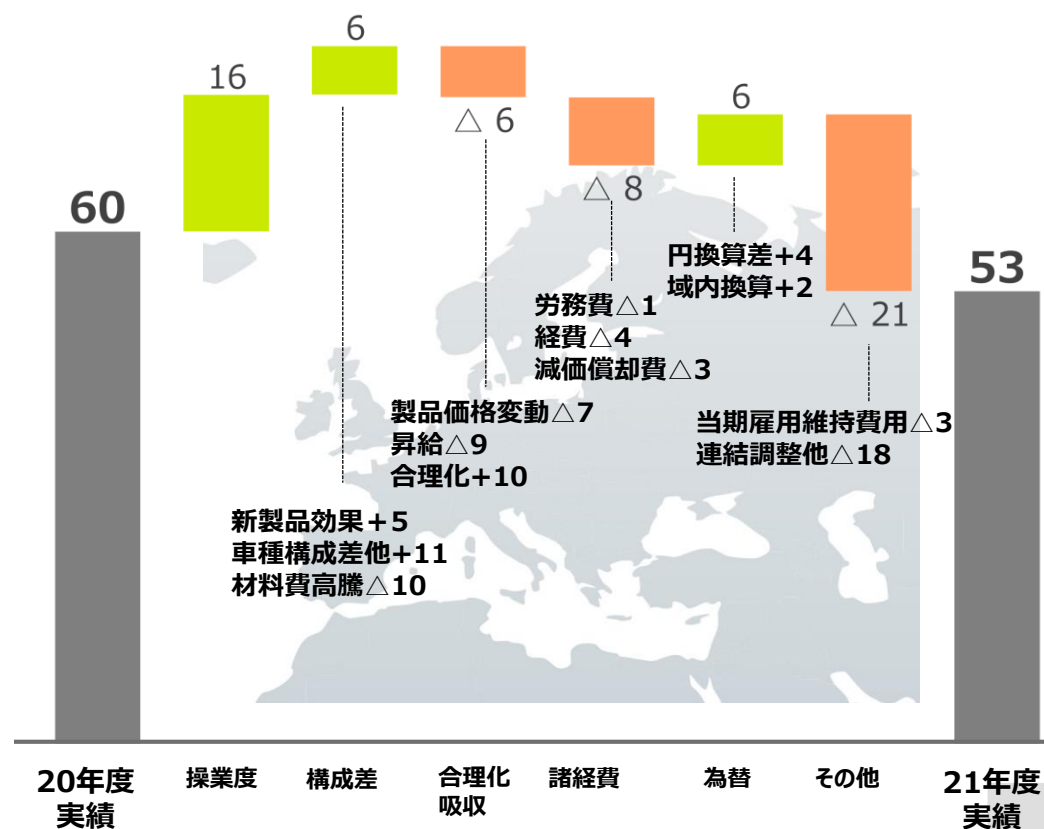
当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度実績	増減
売上収益	826	962	136
営業利益	60	53	△7
営業利益率	7.3%	5.5%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比プラス7万台の78万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比136億円増加の962億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響はありましたが、
材料費高騰や一過性の減益要因などにより
7億円減益の53億円となりました。

目次

1. 2021年度 決算状況

2. 2022年度 通期業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2022年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2022年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	21年度 通期実績		22年度 通期予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	14,214	100.0%	15,700	100.0%	1,485	10.5%
営業利益	602	4.2%	780	5.0%	177	29.4%
税引前利益	645	4.5%	810	5.2%	164	25.5%
当期利益*	392	2.8%	520	3.3%	127	32.4%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		210円15銭	278円34銭	
為替レート	USドル	112円	115円	+3円
	1-0	131円	130円	△1円

売上収益

コロナ感染拡大の長期化や部品供給問題による減産リスクはあるものの、グローバルでの需要回復などにより増収となる見込み

営業利益

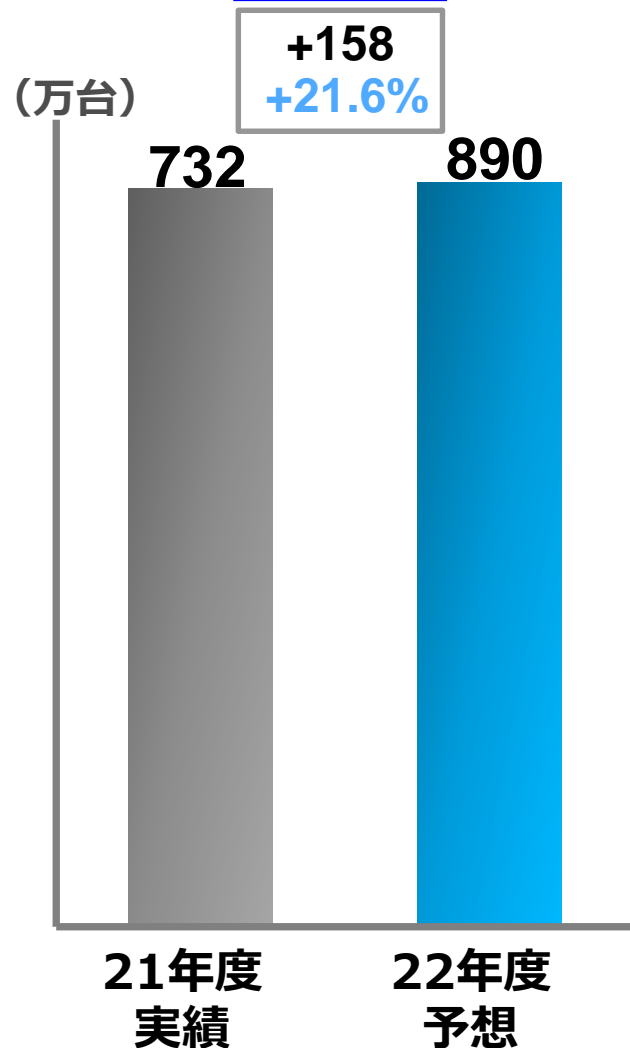
将来に向けた投資や材料費・輸送費高騰による減益要因はあるものの、増産影響やモデルチェンジ等の新製品効果などにより増益の見込み

スクリプト

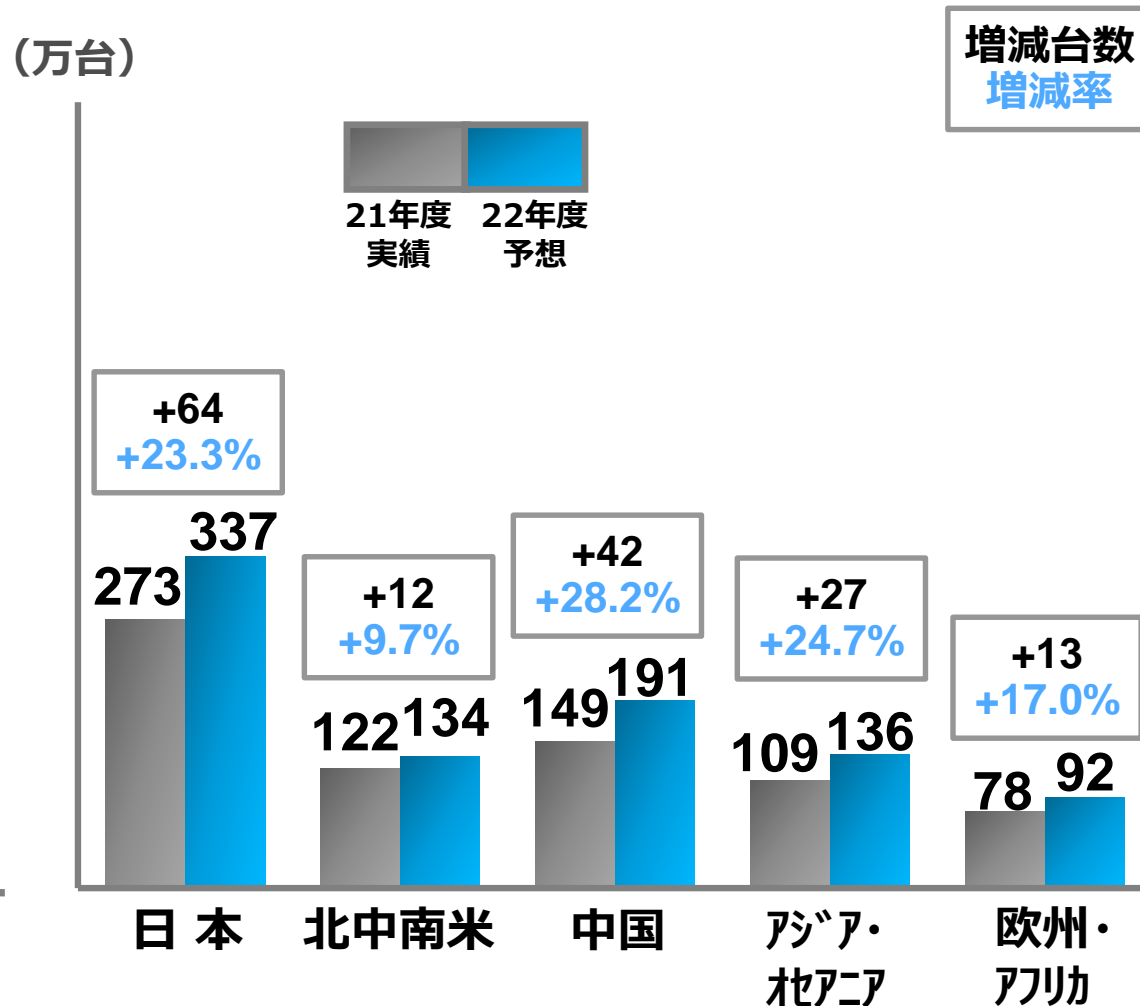
- ◆売上収益は、前期比1,485億円増加の1兆5,700億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比177億円増益の780億円。
- ◆税引前利益は、前期比164億円増益の810億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比127億円増益の520億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル115円、1ユーロ130円を前提としております。

2-2) 2022年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



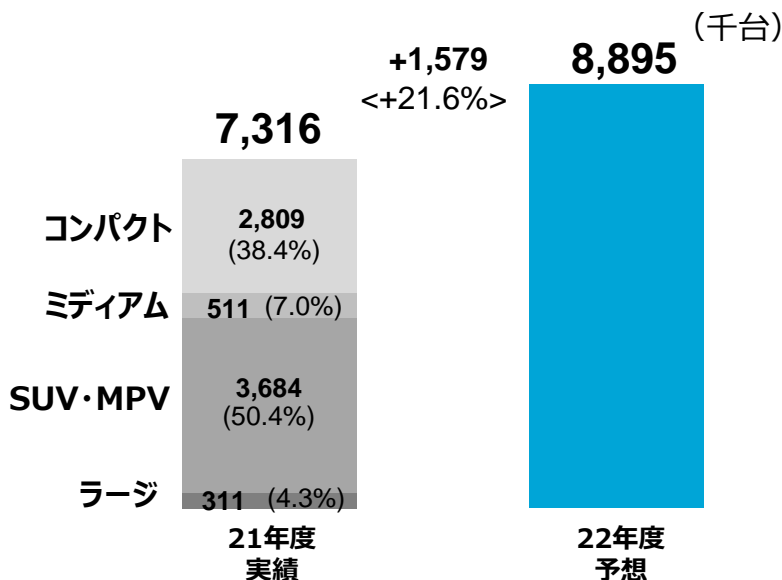
- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比プラス158万台の890万台と
予想しております。

- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

2-3) 2022年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

将来に向けた投資や材料費・輸送費高騰などによる減益要因はあるものの、増産影響やモデルチェンジ等の新製品効果などにより増益となる見込み

台数・車種構成の変化

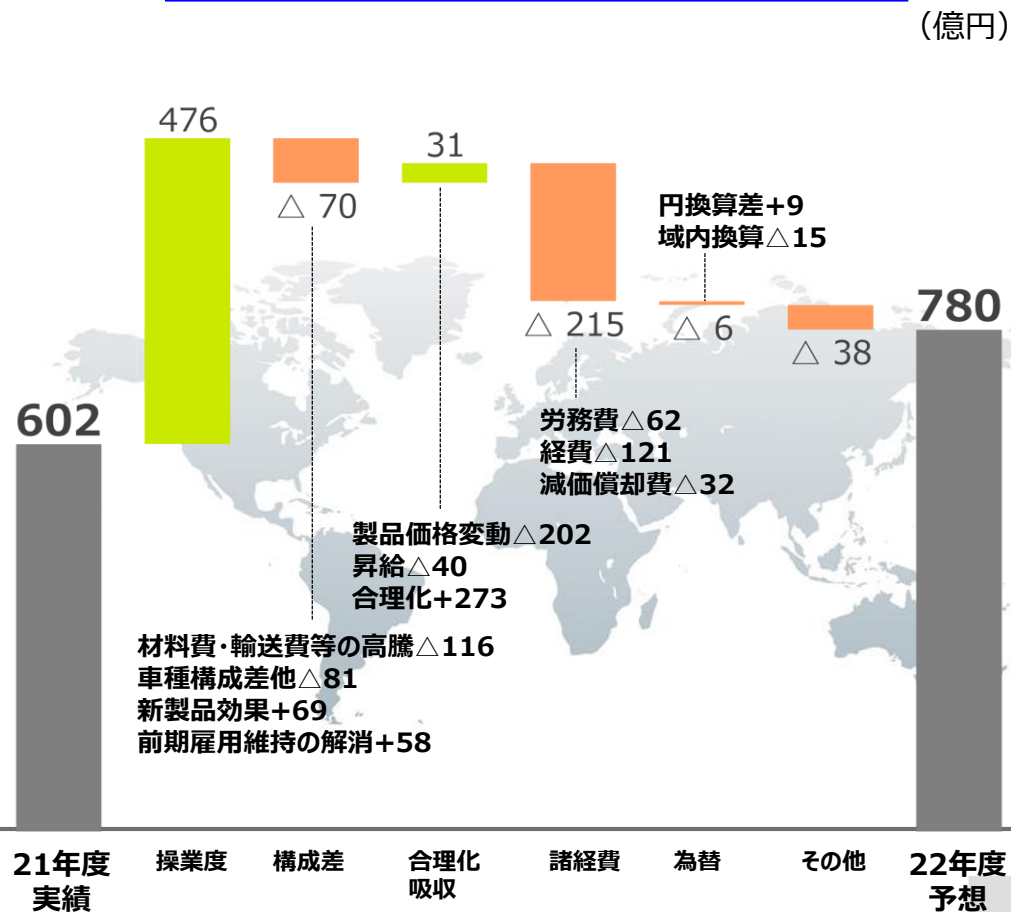


当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	14,214	15,700	1,485
営業利益	602	780	177
営業利益率	4.2%	5.0%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、材料供給問題などにより稼働状況が、一部不透明なため、前回同様台数のみの公表といたします。台数は前期比プラス158万台の890万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,485億円増加の1兆5,700億円。
- ◆営業利益は、将来の成長に向けた先行投資の実施や材料費・輸送費等の高騰影響などの減益要因はありますが、増産影響、モデルチェンジや新製品立ち上げなどの新製品効果などにより前期比177億円増益の780億円を想定しております。

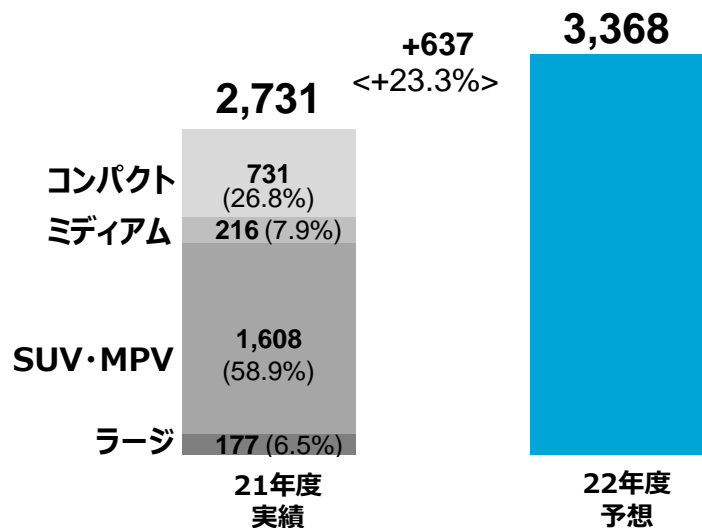
2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

材料費等の高騰影響や諸経費の増加などの減益要因はあるものの、増産影響や新製品効果などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化

(千台)



当期の経営成績

(億円)

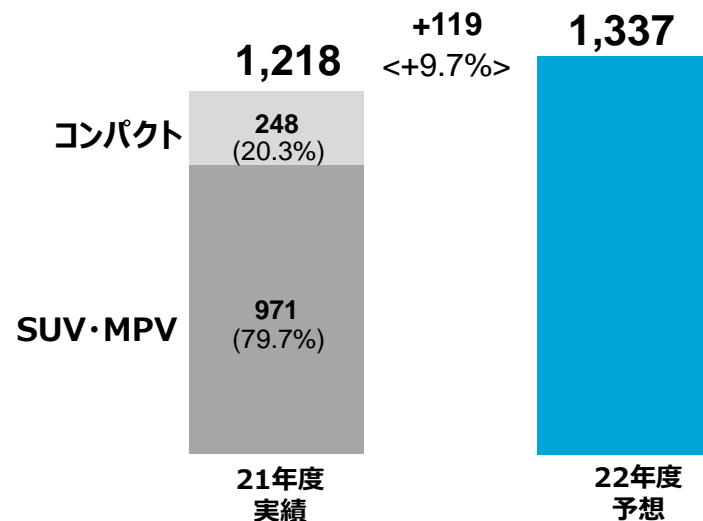
	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	7,006	7,500	493
営業利益	96	200	103
営業利益率	1.4%	2.7%	-

北中南米

材料費・輸送費の高騰影響や諸経費の増加などの減益要因はあるものの、増産影響などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化

(千台)



当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	3,177	3,400	222
営業利益	29	50	20
営業利益率	0.9%	1.5%	-

スクリプト

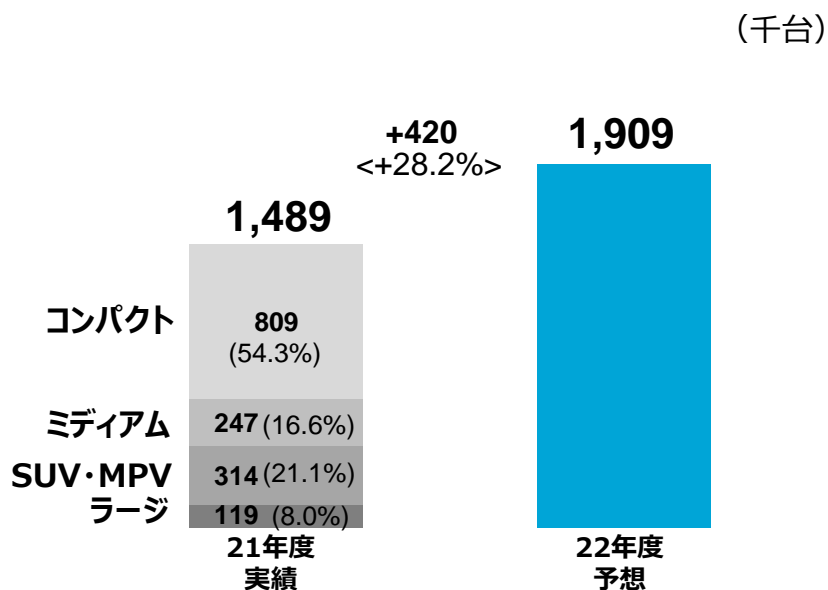
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、
台数は、前期比プラス64万台の337万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比493億円増加の7,500億円。
- ◆営業利益は、材料高騰影響や諸経費の増加などの減益要因はありますが、増産影響やモデルチェンジによる新製品効果などにより前期比103億円増益の200億円となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、
台数は、前期比プラス12万台の134万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比222億円増加の3,400億円。
- ◆営業利益は、材料費や輸送費の高騰影響、諸経費の増加などの減益要因はありますが、前年度の部品供給問題からの回復による増産効果などにより前期比20億円増益の50億円となる見込みです。

2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

中国

諸経費の増加などの減益要因はあるものの、
新製品立ち上げによる増産影響などにより
増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

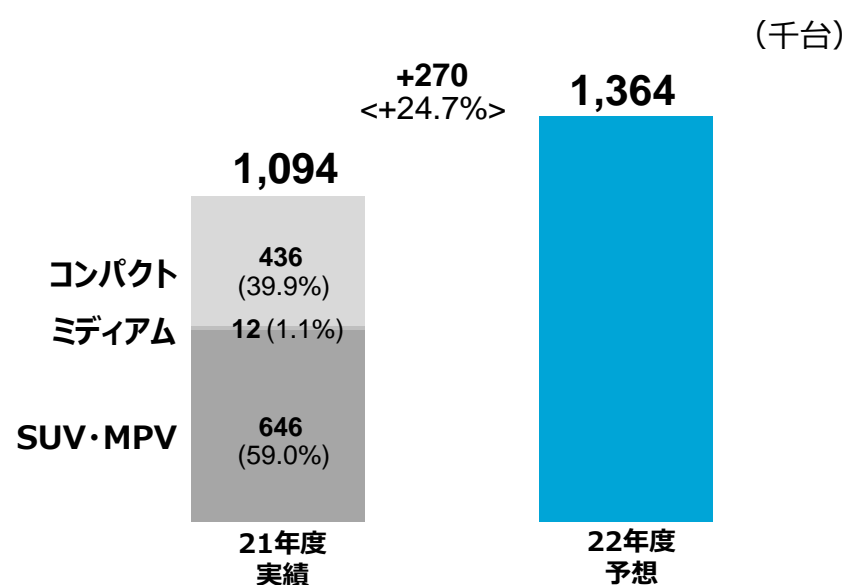
(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	2,121	2,700	578
営業利益	157	250	92
営業利益率	7.4%	9.3%	—

アジア・セアニア

増産影響などの増益要因はあるものの、
車種構成の変化や
生準費等の増加などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	1,904	2,100	195
営業利益	267	240	△27
営業利益率	14.0%	11.4%	—

スクリプト

- ◆次に、中国ですが、
台数は、前期比プラス42万台の191万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比578億円増加の2,700億円。
- ◆営業利益は、諸経費の増加など減益要因はありますが、
新製品立ち上げによる増産影響などにより
前期比92億円増益の250億円となる見込みです。

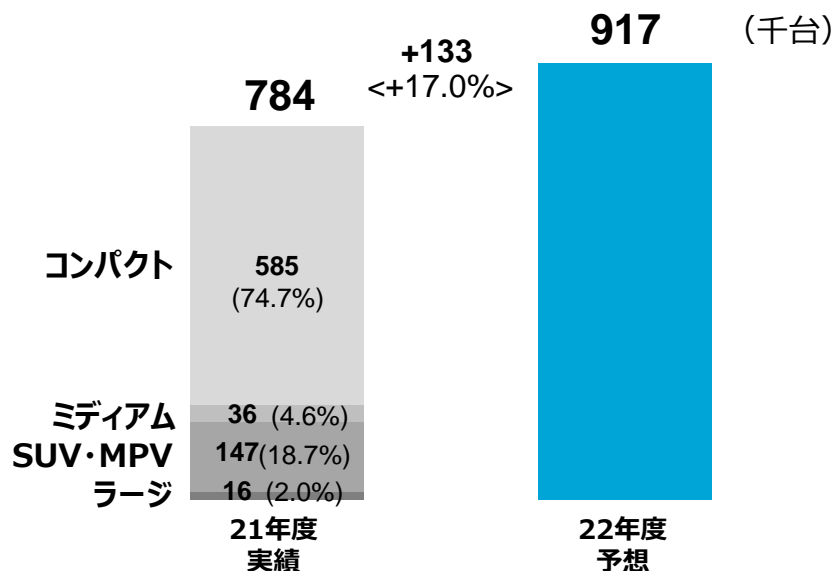
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
台数は、前期比プラス27万台の136万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比195億円増加の2,100億円。
- ◆営業利益は、新製品立ち上げなどによる増産影響はありますが、
車種構成の変化や生準費の増加などにより、
前期比27億円減益の240億円となる見込みです。

2-4) 2022年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

欧州・アフリカ

増産影響などの増益要因はあるものの、
材料費等の高騰影響や地政学的リスクを鑑み
減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	21年度実績	22年度予想	増減
売上収益	962	1,100	137
営業利益	53	40	△13
営業利益率	5.5%	3.6%	-

スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
台数は、前期比プラス13万台の92万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比137億円増加の1,100億円。
- ◆営業利益は、前年度部品供給問題からの回復による増産影響はありますが、材料費等の高騰影響や地政学的リスクを鑑みまして、
前期比13億円減益の40億円となる見込みです。

2-5) 2022年度 通期業績予想 地域別・上下別

売上収益

(億円)

	上期	下期	通期
日本	3,400	4,100	7,500
北中南米	1,700	1,700	3,400
中国	1,300	1,400	2,700
アジア・中東	1,000	1,100	2,100
欧州・アフリカ	500	600	1,100
連結全体	7,400	8,300	15,700

営業利益

(億円)

	上期		下期		通期	
日本	40	1.2%	160	3.9%	200	2.7%
北中南米	30	1.8%	20	1.2%	50	1.5%
中国	120	9.2%	130	9.3%	250	9.3%
アジア・中東	110	11.0%	130	11.8%	240	11.4%
欧州・アフリカ	10	2.0%	30	5.0%	40	3.6%
連結全体	310	4.2%	470	5.7%	780	5.0%

- ◆なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

2-6) 2022年度 通期業績予想 株主還元

- 21年度は、前回公表と同様の64円
- 22年度は、21年度比6円増配の年間70円を予定、今後の連結業績などを総合的に勘案し決定

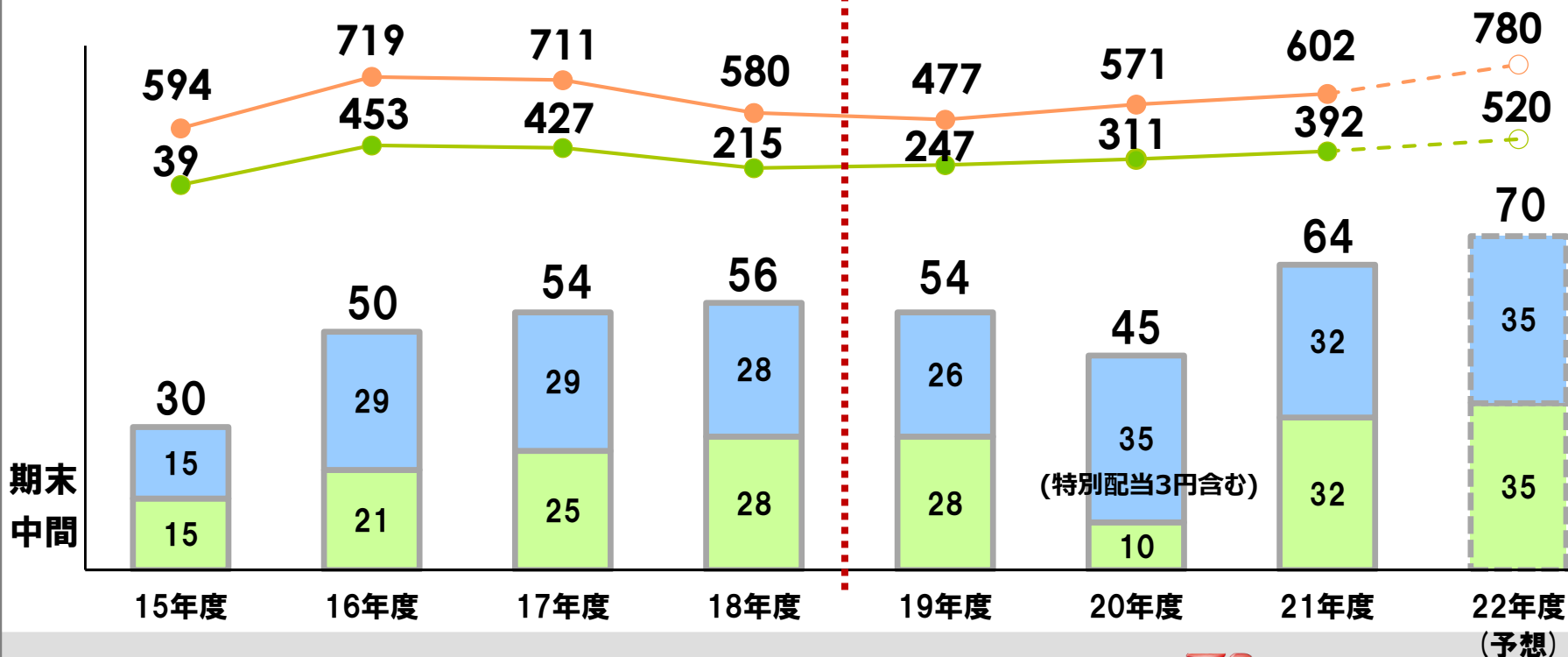
配当金および営業利益、当期利益の推移

■ 配当金(円)

● 営業利益(億円)

● 親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)

日本基準 ◀ ▶ IFRS



- ◆次に、配当金でございますが、21年度につきましては、株主の皆様への還元として、前回公表同様の年間64円。22年度につきましては、前年比6円増配の年間70円とさせていただく予定です。
今後、長期安定的な配当継続の観点などから、連結業績などを総合的に勘案し決定いたします。

2-7) 2021年度 期末決算 総括

【21年度】

- ・需要変動や材料費高騰などの外部環境変化による減益要因はあるものの、**新製品効果**や**全社を挙げた収益確保策の実施**により**前回公表値を達成**

【22年度】

- ・客先増減産や材料費、輸送費の高騰など、**外部環境変化に柔軟に対応**しながら、「**足許の収益確保**」と「**将来への先行投資**」を両立
- ・一方で、コロナ感染拡大長期化や部品供給不足に加え、不安定な世界情勢含め**公表台数は不透明な状況**にあり、今後の客先動向を注視しながら業績予想を判断

スクリプト

- ◆最後に、2021年度期末決算を総括させていただきます。
- ◆21年度におきましては、グローバルでの部品供給問題等による需要変動や、材料費高騰影響など外部環境による減益要因はありましたが、新製品効果や全社を挙げた収益確保により、営業利益は前回公表値を達成いたしました。
- ◆22年度につきましては、客先増減産や世界的な材料費・輸送費の高騰などの外部環境変化に柔軟に対応しつつ、足許の収益確保と将来への先行投資の両輪を確実に実施することで、営業利益は過去最高益を見込んでおります。
- ◆一方で、コロナ感染拡大長期化や、部品供給不足に加え、昨今の不安定な世界情勢を含め公表台数は不透明な状況にあるため、今後の客先動向を注視しながら業績予想を判断してまいります。

スクリプト

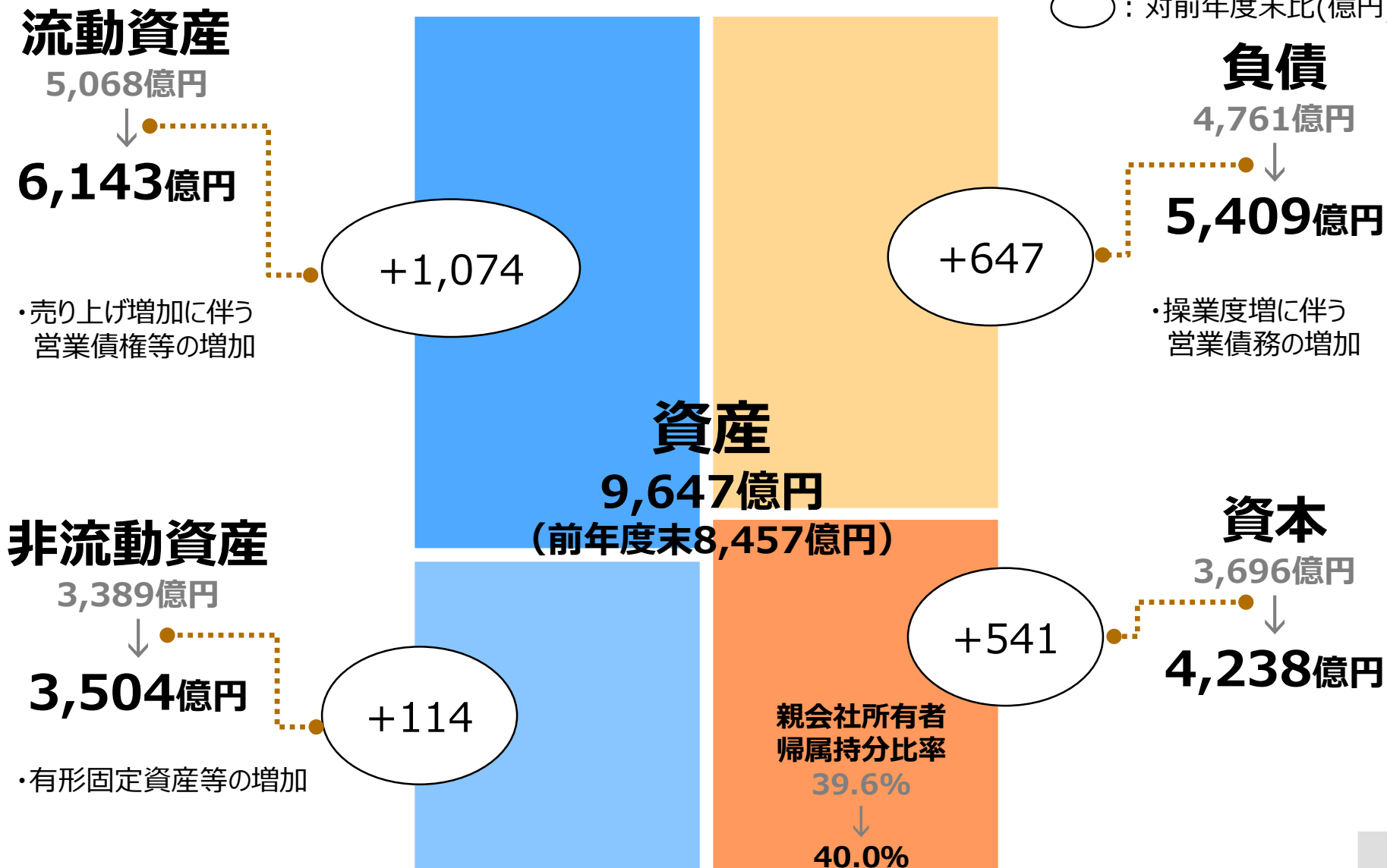
- ◆以上をもちまして、2021年度期末決算の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

目次

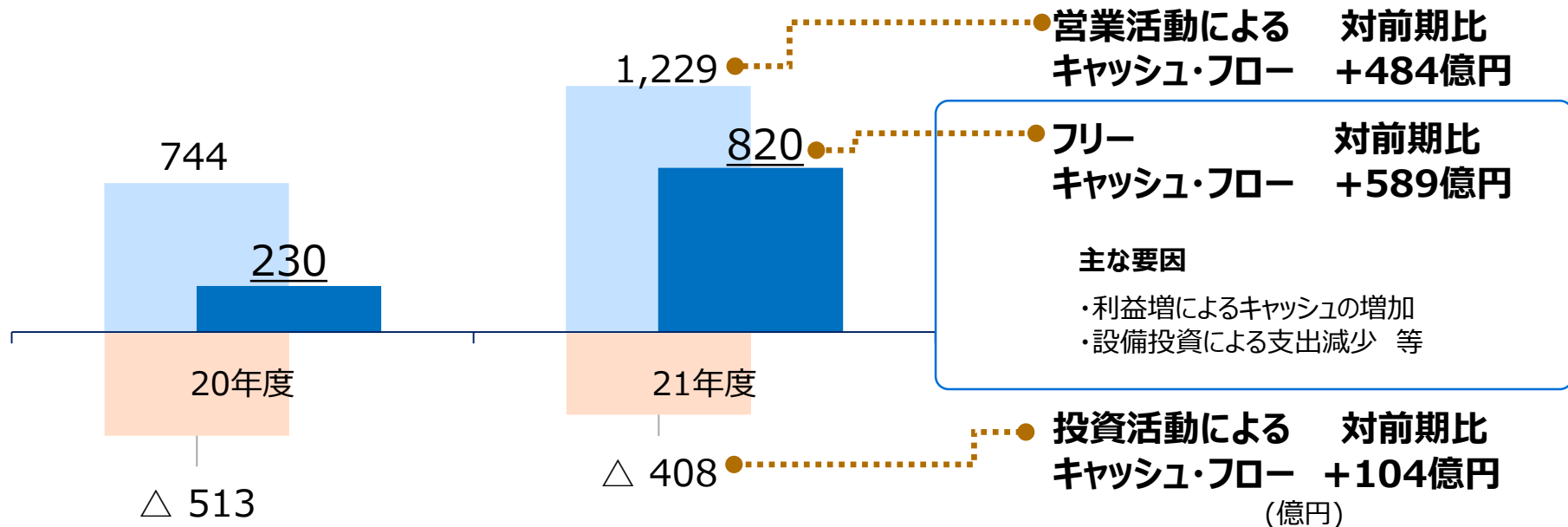
1. 2021年度 決算状況
2. 2022年度 通期業績予想
- 3. 参考情報**

参考1) 連結財政状態計算書の状況(22/3末)

○ : 対前年度末比(億円)



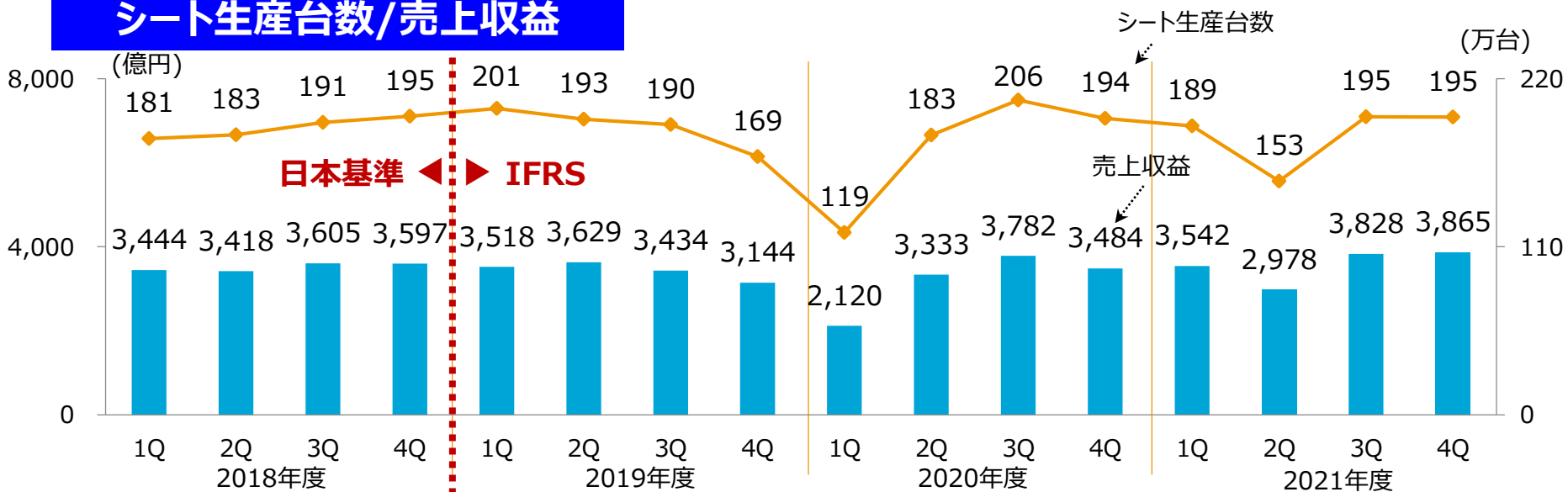
参考2) 連結キャッシュフローの状況



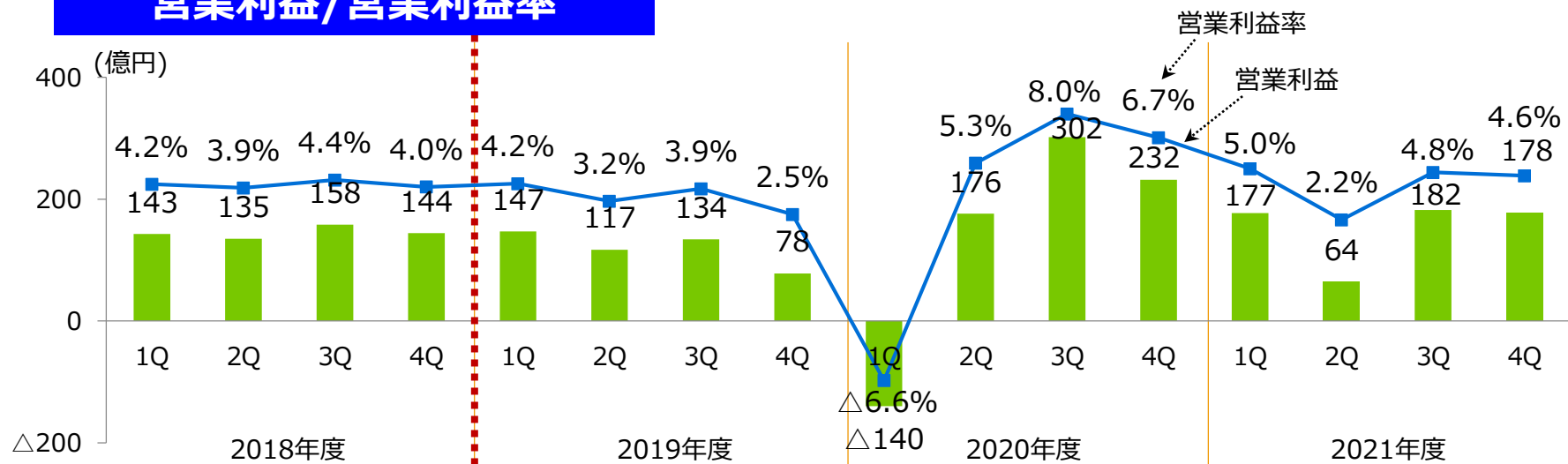
	20年度	21年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	744	1,229	484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 513	△ 408	104
フリーキャッシュ・フロー	230	820	589
財務活動によるキャッシュ・フロー	27	△ 486	△ 514
為替変動による影響額	59	93	34
現金及び現金同等物の増減額	318	427	109
現金及び現金同等物の残高	1,951	2,379	427

参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

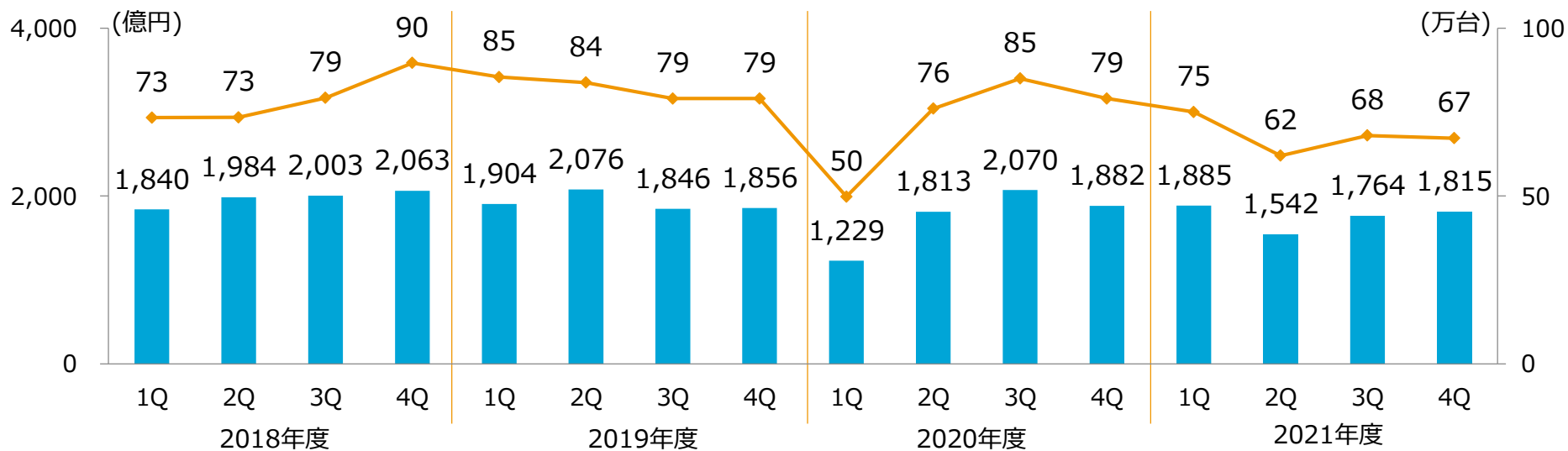


営業利益/営業利益率

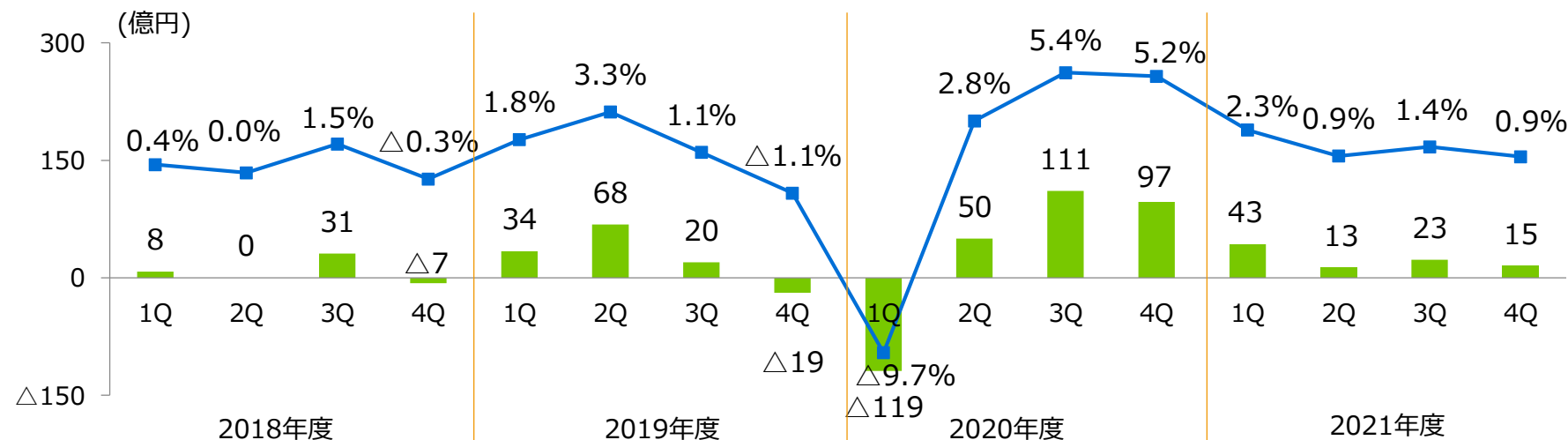


参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

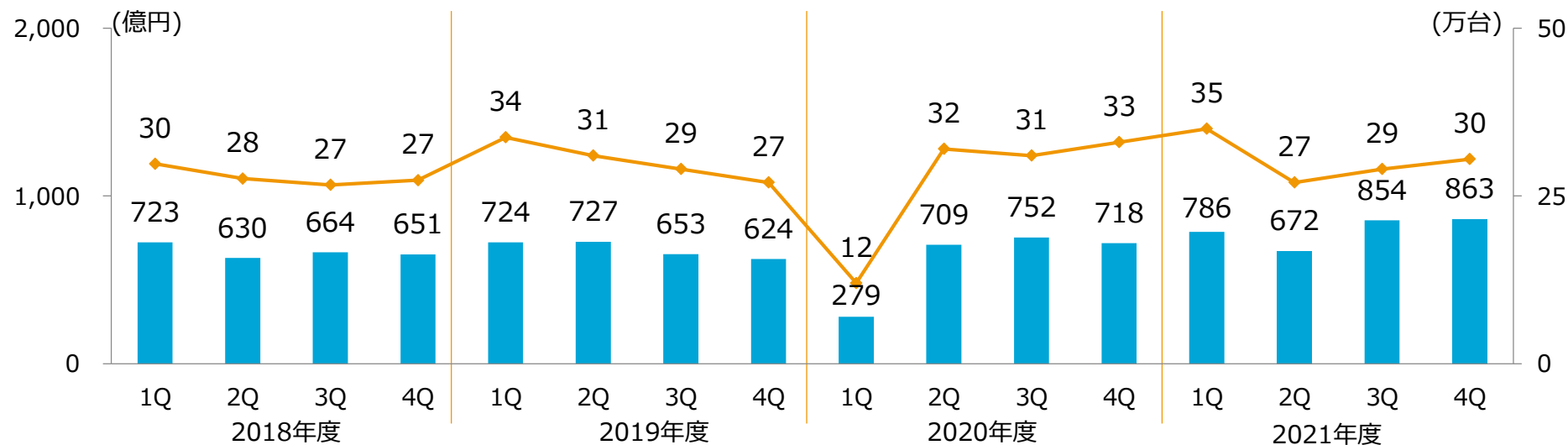


営業利益/営業利益率

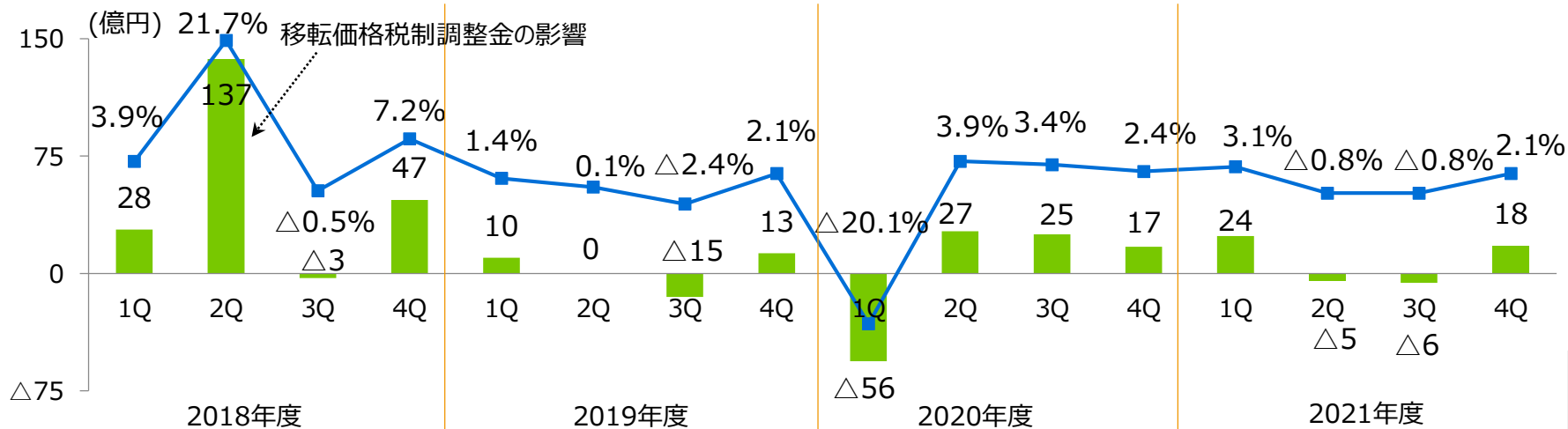


参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

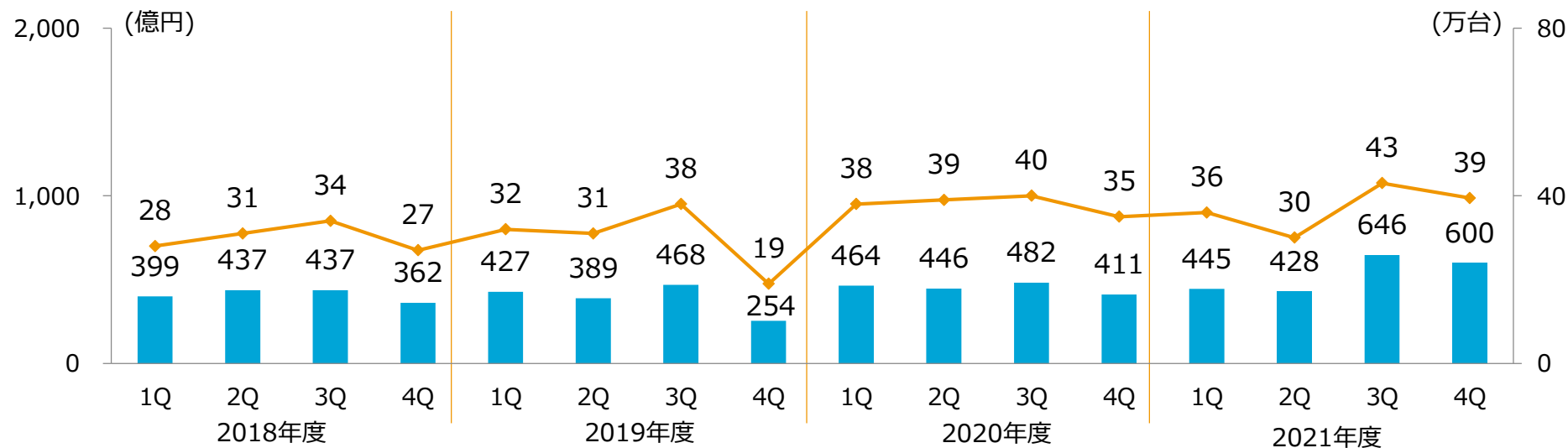


営業利益/営業利益率

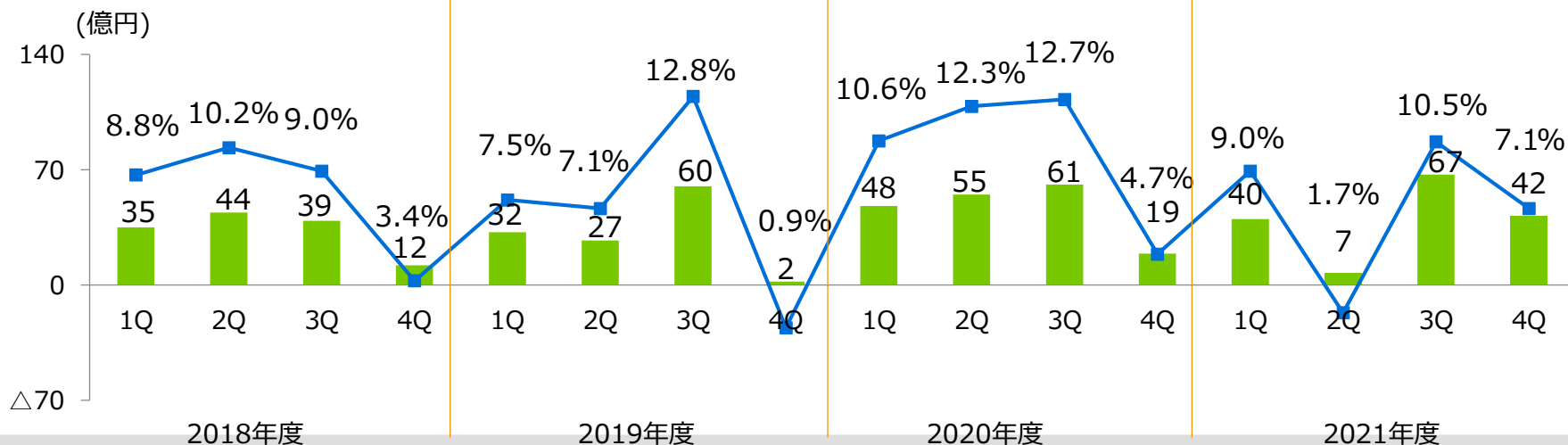


参考6) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

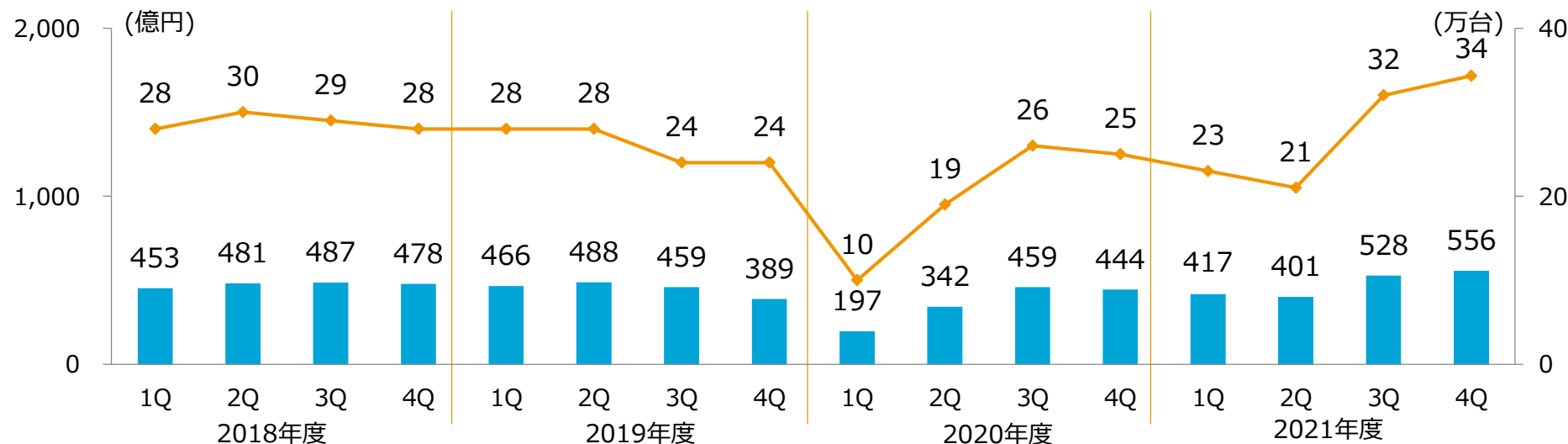


営業利益/営業利益率

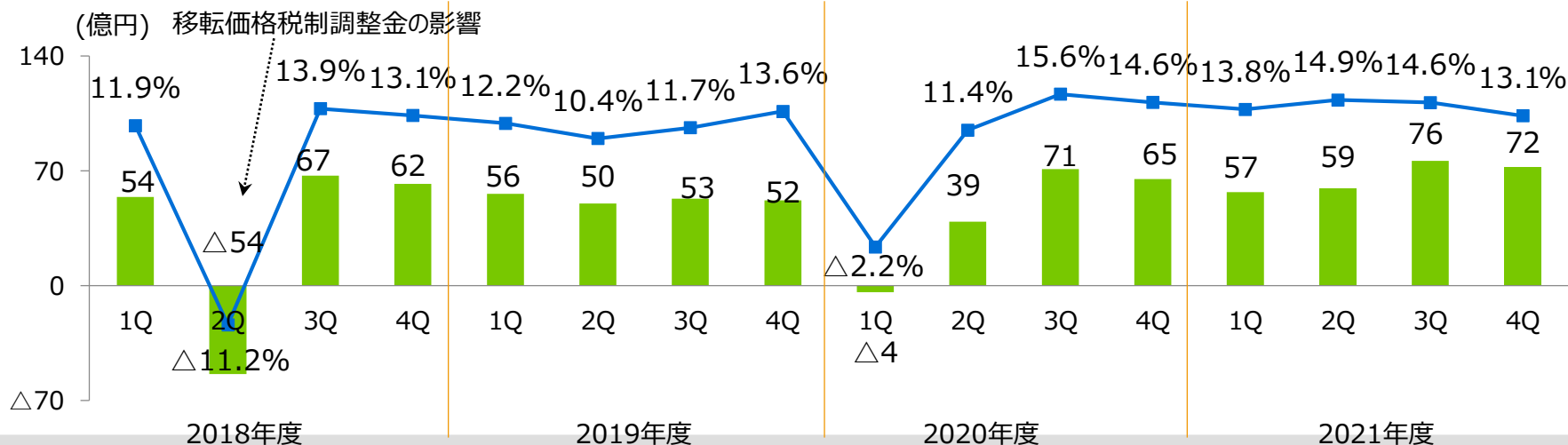


参考7) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

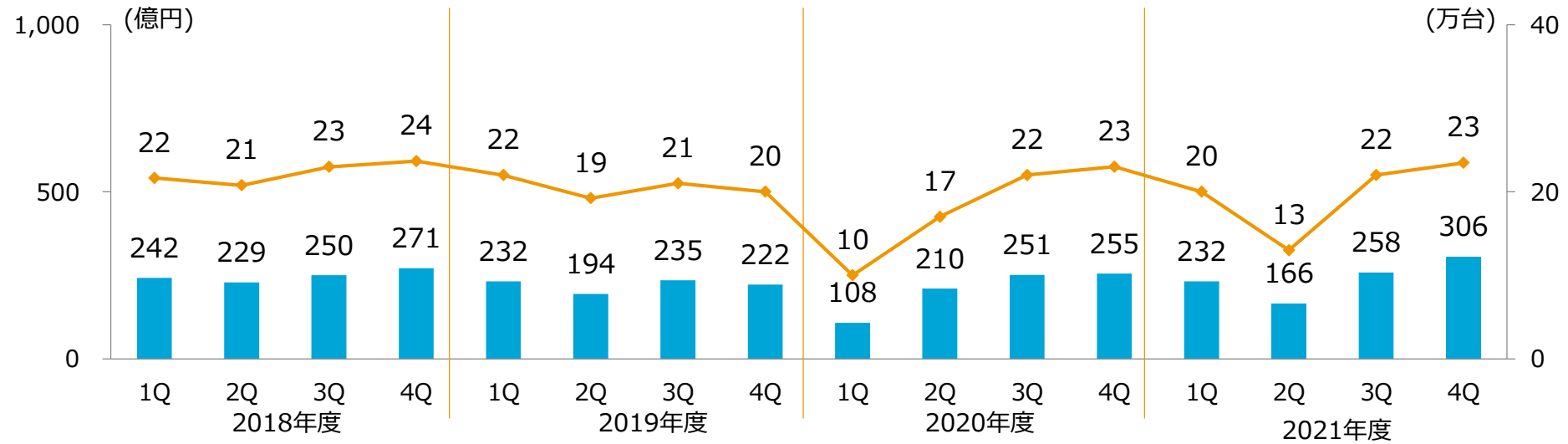


営業利益/営業利益率

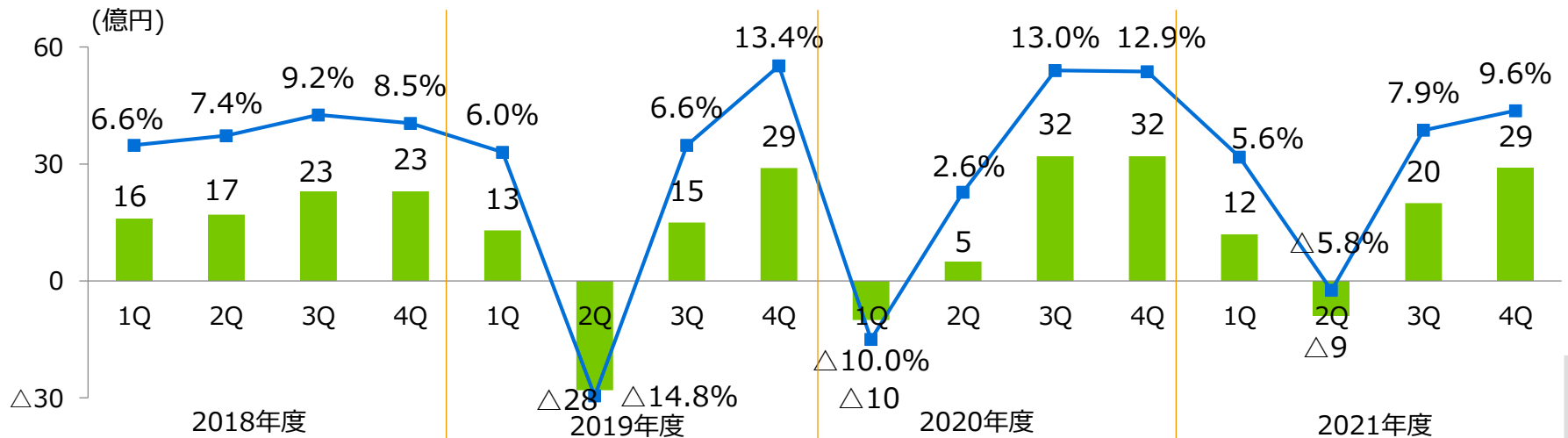


参考8) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率



参考9) 事業別売上収益

(億円)

	20年度実績		21年度実績		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
シート	9,322	73.3%	10,511	73.9%	1,189	12.8%
内外装	2,505	19.7%	2,727	19.2%	222	8.9%
ユニット部品	893	7.0%	975	6.9%	82	9.2%
合計	12,721	100.0%	14,214	100.0%	1,493	11.7%



<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。